

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について【概要】

1 調査の概要

(1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 平成30年4月17日(火)

(3) 調査の方法 悉皆調査

(4) 調査を実施した学校数・児童生徒数

学 年	学 校 数	児 童 生 徒 数
小学校第6学年	公立小学校 282校 特別支援学校 2校 計 284校	児 童 10,912人
中学校第3学年	公立中学校 145校 中等教育学校 1校 特別支援学校 6校 計 152校	生 徒 10,701人

(5) 調査の内容

- ① 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
 - 問題A…主として「知識」に関する問題
 - 問題B…主として「活用」に関する問題
 - ※理科は「知識」と「活用」に関する問題を一体的に出題
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ア 児童生徒に対する調査(児童生徒質問紙)
【小学校…62項目 中学校…59項目】
 - イ 学校に対する調査(学校質問紙)
【小学校…84項目 中学校…81項目】

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する結果

① 全体の結果

- 小学校では、全ての区分で全国平均以上である。
- 中学校では、区分によって差はあるものの、概ね全国平均と同程度である。

② 教科ごとの結果

(平成 29 年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供)

【小学校】

区分	平均正答率(%)	
	山口県	全 国
国語A	72	70.7
国語B	57	54.7
算数A	64	63.5
算数B	52	51.5
理 科	62	60.3

【中学校】

区分	平均正答率(%)	
	山口県	全 国
国語A	77	76.1
国語B	61	61.2
数学A	67	66.1
数学B	46	46.9
理 科	67	66.1

(2) 児童生徒質問紙の結果

【望ましい状況】

○《地域との関わり》

授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う子どもや、今住んでいる地域の行事に参加している子どもの割合は、全国と比べて高い。

○《子どもたちの意識》

自分にはよいところがあると思う子どもや、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う子どもの割合は、全国と比べて高い。人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合も、全国と比べて高い。

○《学校の授業や活動》

課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う子どもや、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合は、全国と比べて高い。

【課題のみられる状況】

●《家庭での学習習慣》

平日(学校の授業時間以外)に1時間以上勉強をする子どもの割合は増加傾向にあるものの、2時間以上勉強する子どもの割合は、全国と比べて低い。

平日に読書をする子どもの割合は、全国と比べて高いものの、「全くしない」と回答した子どもの割合が、小学校18.3%、中学校27.1%であり、依然として高い傾向が見られる。

●《地域との関わり》

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子どもの割合は、全国と比べて高いものの、減少傾向が見られる。

(3) 学校質問紙の結果

【望ましい状況】

○《教育課程》

各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列して指導計画を作成している学校や、教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。

○《学習指導》

習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした学校や、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた学校の割合は、全国と比べて高い。

○《調査結果の活用》

全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。

【課題のみられる状況】

●《地域との関わり》

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を「よく行った」学校の割合は、全国と比べて高いものの、減少傾向が見られる。

(4) 今後の対応

各学校の課題解決に向けた取組が具体化され、適切な実施が図られるよう、市町教委との連携を一層強化する。また、今後も「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」、「教員の授業力の向上」、「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点から、それぞれの取組を推進するとともに、新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着と向上に向けて取り組む。

□ 「学校の組織力の充実」に向け、4月の全国調査と10月の山口県学力定着状況確認問題を活用した年間2回の検証改善サイクルに基づく取組の充実を図る。学力分析支援ツールを活用した結果分析や、成果と課題の共有、課題解決に向けた取組の改善や学力向上プランの見直しなど、各学校の全校体制による取組を、学校訪問等により支援する。

□ 「教員の授業力の向上」に向け、各種研修会や研究指定校等の成果の普及を図る。また、子どもたちの状況に応じたきめ細かな指導体制づくりを推進するため、学校の課題に応じた少人数指導など、少人数教育の充実を図る。さらに、地域内の学校を継続的に訪問・指導する市町教委の指導主事等と、思考力・判断力・表現力等の育成など、本県の学力課題を共有し、子どもたちが、学習したことを活用しながら、論理的に考え、説明する力を高めることができるよう、課題解決に向けた各学校の具体的な授業改善の取組を一層推進する。

□ 「学校・家庭・地域の連携力の強化」に向け、校種間での連携を推進し、各教科等の学習内容の系統性や指導方法の共通理解を図る。また、「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かした、学校、家庭、地域の情報共有や地域人材による学習支援など、豊かな学びを支える学習環境づくりを進める。

3 資料

(1) 教科の結果

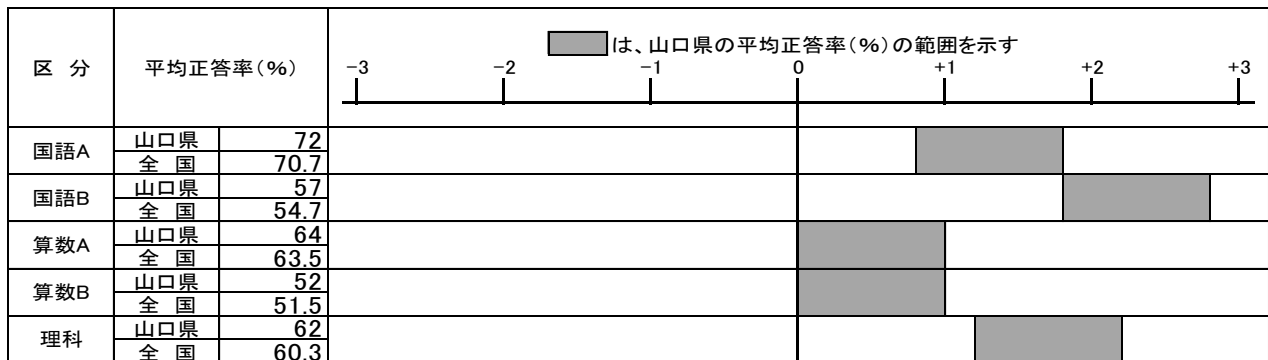
【平成30年度 各教科の結果】

○小学校

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	8.6/12	8.5/12	72	70.7
国語B	4.6/ 8	4.4/ 8	57	54.7
算数A	8.9/14	8.9/14	64	63.5
算数B	5.2/10	5.1/10	52	51.5
理 科	9.9/16	9.6/16	62	60.3

(全国の平均正答率との比較)

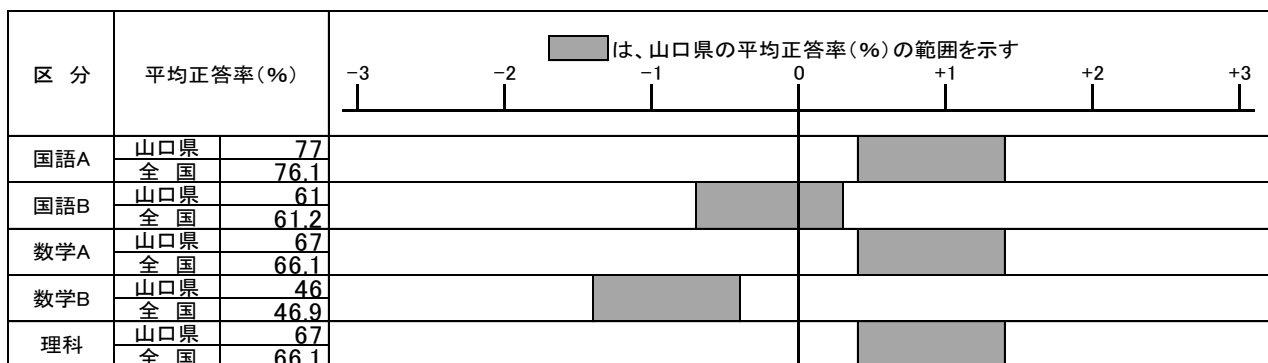
※ 平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。



○中学校

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.6/32	24.3/32	77	76.1
国語B	5.5/ 9	5.5/ 9	61	61.2
数学A	24.2/36	23.8/36	67	66.1
数学B	6.5/14	6.6/14	46	46.9
理 科	18.0/27	17.9/27	67	66.1

(全国の平均正答率との比較)



【参考：平成29年度】

○小学校

区分	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.4/15	11.2/15	76	74.8
国語B	5.2/9	5.2/9	58	57.5
算数A	11.8/15	11.8/15	79	78.6
算数B	5.0/11	5.1/11	45	45.9

○中学校

区分	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.4/32	24.8/32	79	77.4
国語B	6.6/9	6.5/9	73	72.2
数学A	23.9/36	23.3/36	66	64.6
数学B	7.4/15	7.2/15	49	48.1

【参考：平成28年度】

○小学校

区分	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.2/15	10.9/15	74.6	72.9
国語B	5.9/10	5.8/10	58.7	57.8
算数A	12.5/16	12.4/16	78.4	77.6
算数B	6.3/13	6.1/13	48.1	47.2

○中学校

区分	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.4/33	25.0/33	76.9	75.6
国語B	6.1/9	6.0/9	68.2	66.5
数学A	22.9/36	22.4/36	63.6	62.2
数学B	6.8/15	6.6/15	45.0	44.1

【参考：平成27年度】

○小学校

区分	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	10.1/14	9.8/14	72.1	70.0
国語B	6.1/9	5.9/9	67.5	65.4
算数A	12.3/16	12.0/16	77.1	75.2
算数B	6.0/13	5.9/13	46.4	45.0
理 科	15.0/24	14.6/24	62.7	60.8

○中学校

区分	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.2/33	25.0/33	76.4	75.8
国語B	6.0/9	5.9/9	66.3	65.8
数学A	23.5/36	23.2/36	65.3	64.4
数学B	6.4/15	6.2/15	42.4	41.6
理 科	13.3/25	13.3/25	53.0	53.0

(2) 各教科ごとの結果

小学校国語

- 国語Aについては、平均正答率が72%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。
- 国語Bについては、平均正答率が57%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

(A) 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと

(A) 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うこと

【課題のある点】

(B) 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること

(B) 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと

小学校算数

- 算数Aについては、平均正答率が64%であり、全国平均と同程度であるが、知識・技能の定着に課題が見られる。
- 算数Bについては、平均正答率が52%であり、全国平均と同程度であるが、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の児童ができている点】

(A) 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解すること

(A) 180° の角の大きさを理解すること

【課題のある点】

(A) 直径の長さと同周の長さの関係について理解すること

(B) 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断すること

小学校理科

- 理科については、平均正答率が62%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の活用に課題が見られる。
(「知識」に関する問題平均正答率：80%、「活用」に関する問題平均正答率：57%)

【相当数の児童ができている点】

○ 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること

○ より妥当な考えをつくり出すために、二つの異なる方法の実験結果を分析して考察すること

【課題のある点】

○ より妥当な考えをつくり出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること

○ 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること

中学校国語

- 国語Aについては、平均正答率が77%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着にやや課題が見られる。
- 国語Bについては、平均正答率が61%であり、全国平均と同程度であるが、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- (A) 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くこと
- (A) 文脈の中における語句の意味を理解すること

【課題のある点】

- (A) 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くこと
- (B) 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと

中学校数学

- 数学Aについては、平均正答率が67%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着に課題が見られる。
- 数学Bについては、平均正答率が46%であり、全国平均を下回っており、知識・技能の活用に課題が見られる。

【相当数の生徒ができている点】

- (A) 簡単な連立二元一次方程式を解くこと
- (B) 問題場面における考察の対象を明確に捉えること

【課題のある点】

- (A) 証明の必要性と意味を理解すること
- (B) 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理すること

中学校理科

- 理科については、平均正答率が67%であり、全国平均を上回っているものの、知識・技能の定着と活用に課題が見られる。
(「知識」に関する問題平均正答率：68%、「活用」に関する問題平均正答率：66%)

【相当数の生徒ができている点】

- 豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘すること
- 初期微動継続時間の長さや震源からの距離の知識と音の速さに関する知識を活用すること

【課題のある点】

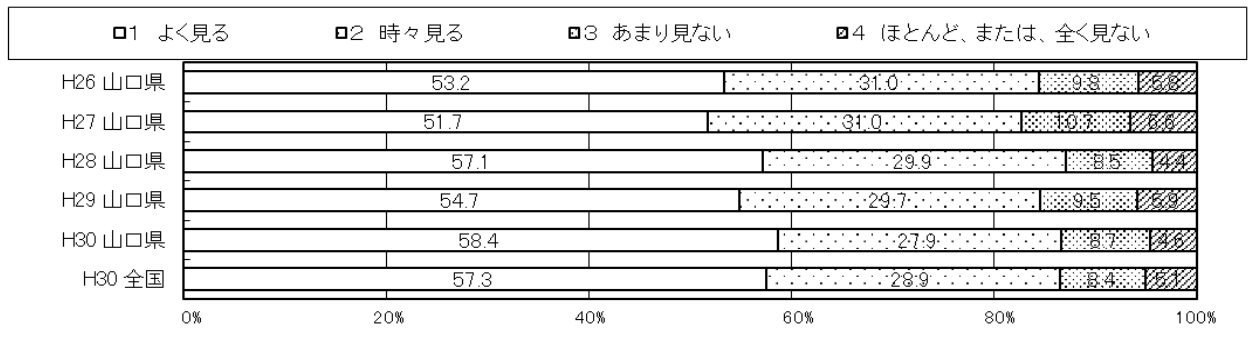
- 風向の観測方法や記録に関する知識・技能を指摘すること
- 植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘すること

(3) 児童生徒質問紙の結果

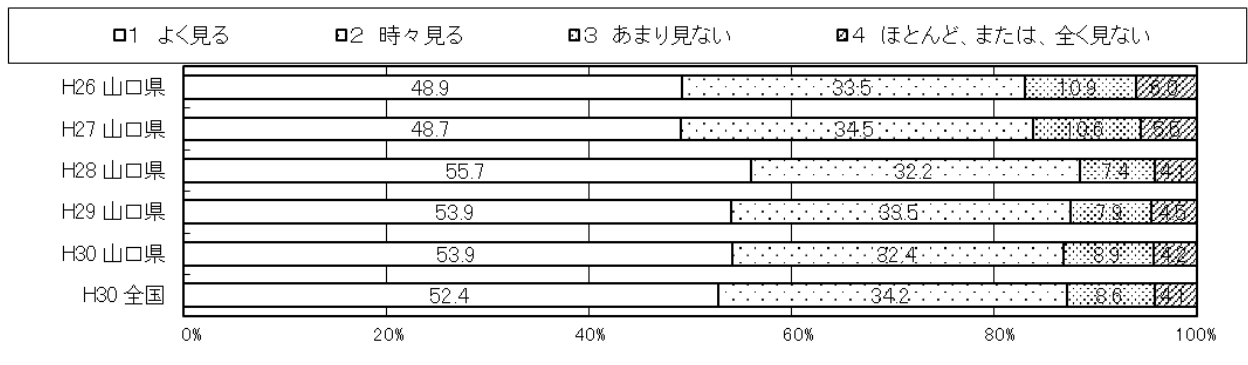
①家庭での生活習慣

ア テレビやインターネットでのニュース視聴

【小学校】 (26)テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか



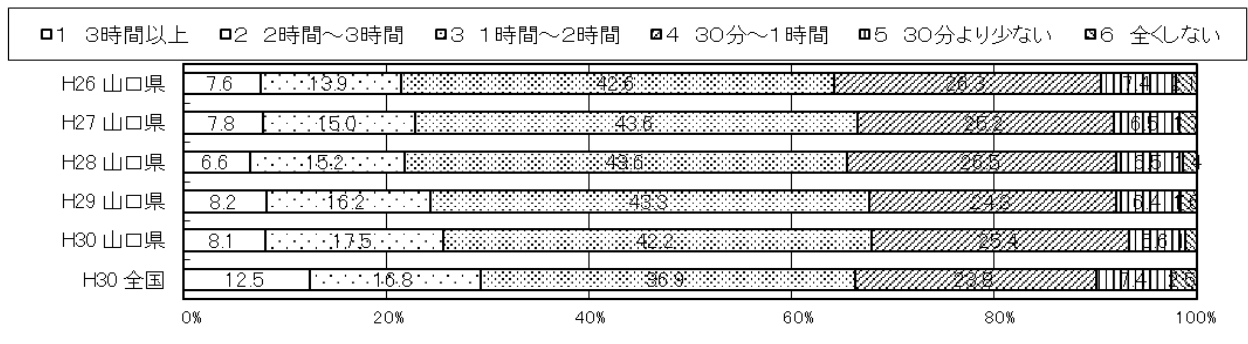
【中学校】 (26)テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか



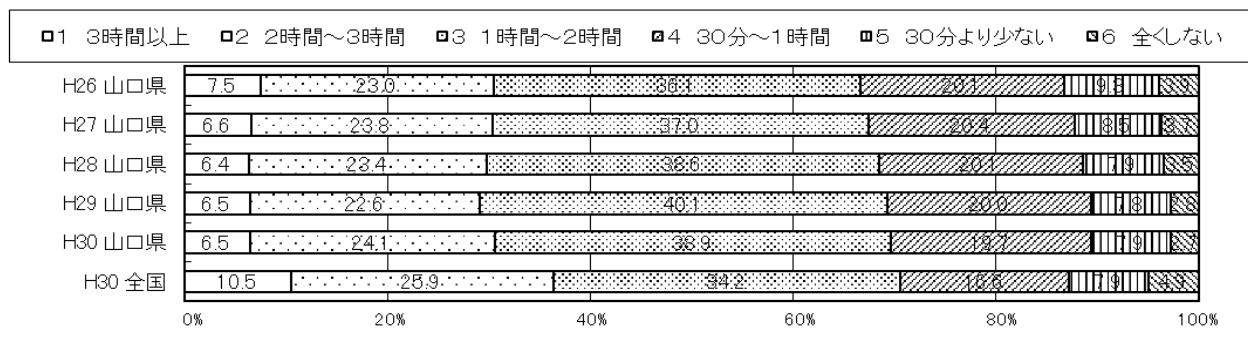
②家庭での学習習慣

ア 平日の家庭学習の時間

【小学校】 (14)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

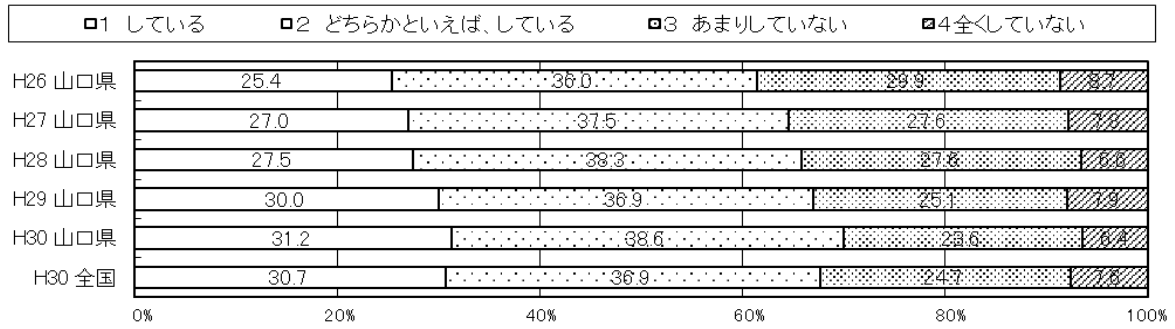


【中学校】 (14)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

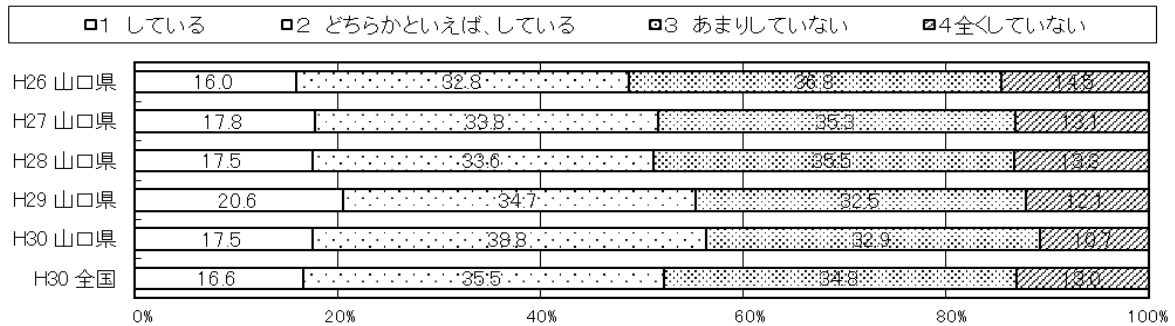


イ 自分で計画を立てた学習

【小学校】 (10)自分で計画を立てて勉強をしている

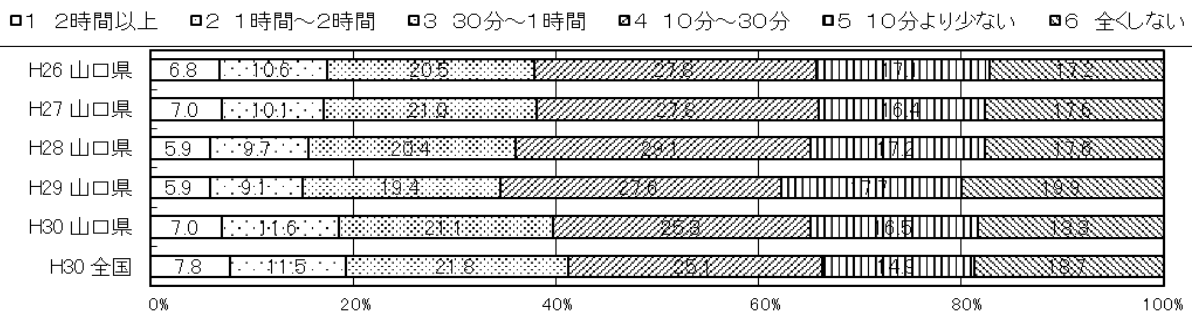


【中学校】 (10)自分で計画を立てて勉強をしている

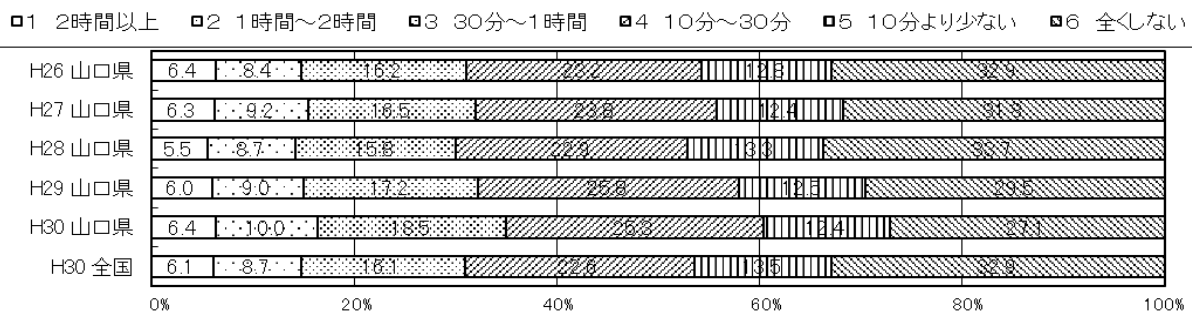


ウ 平日の読書時間

【小学校】 (15)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか

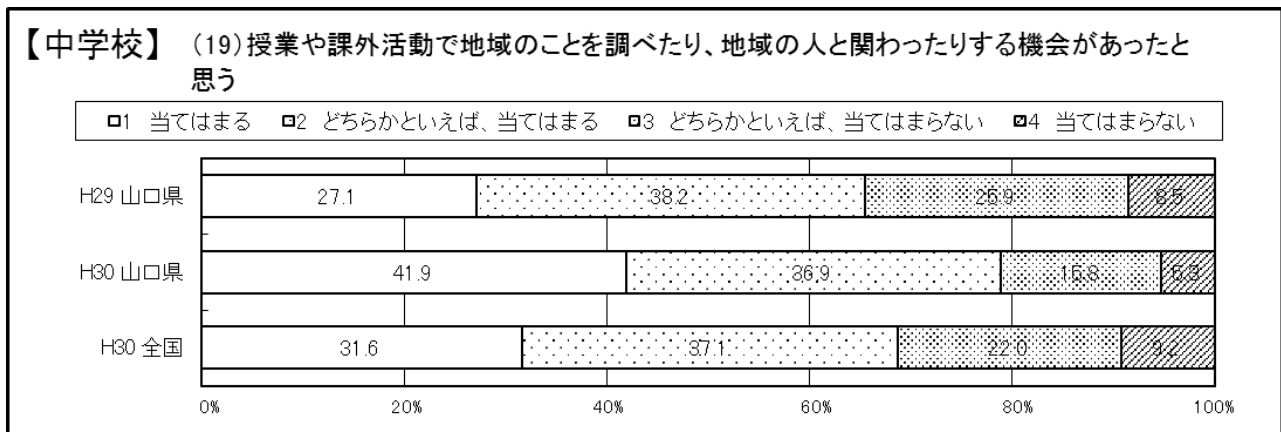
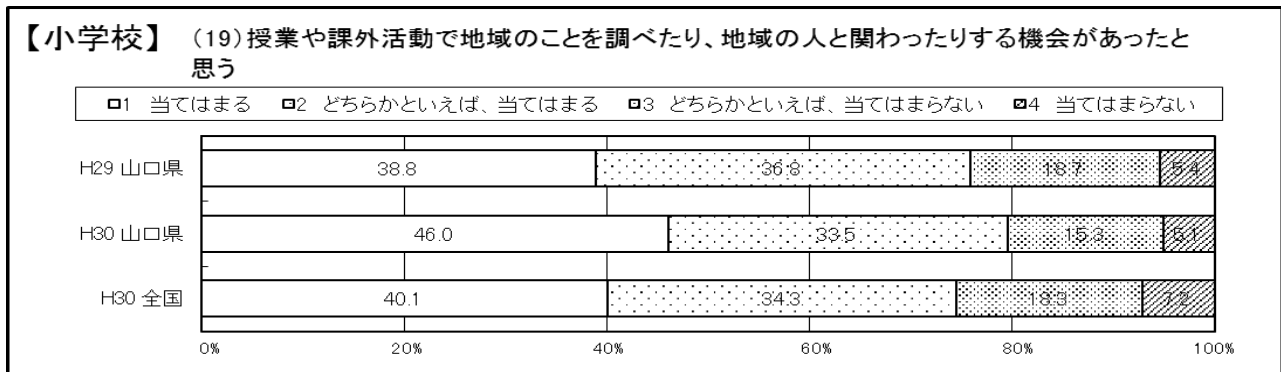


【中学校】 (15)学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか

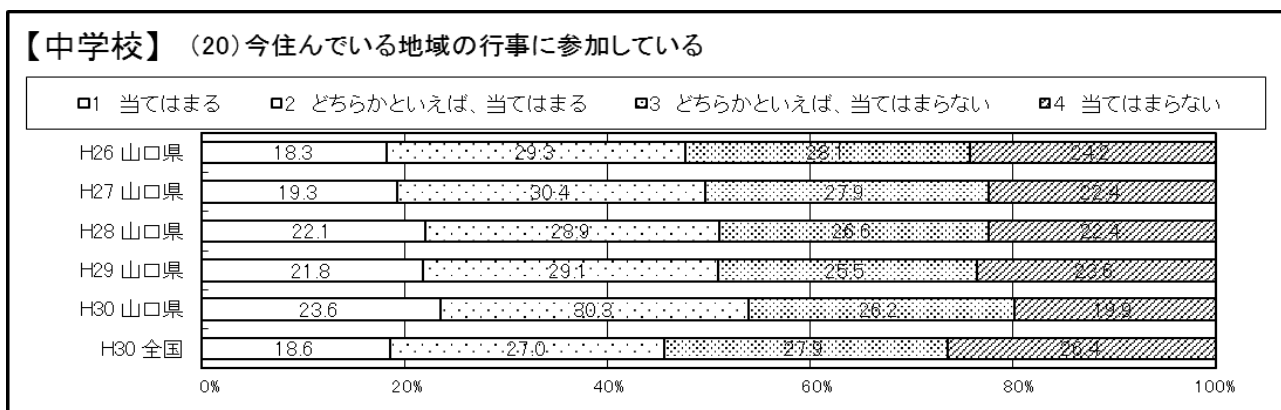
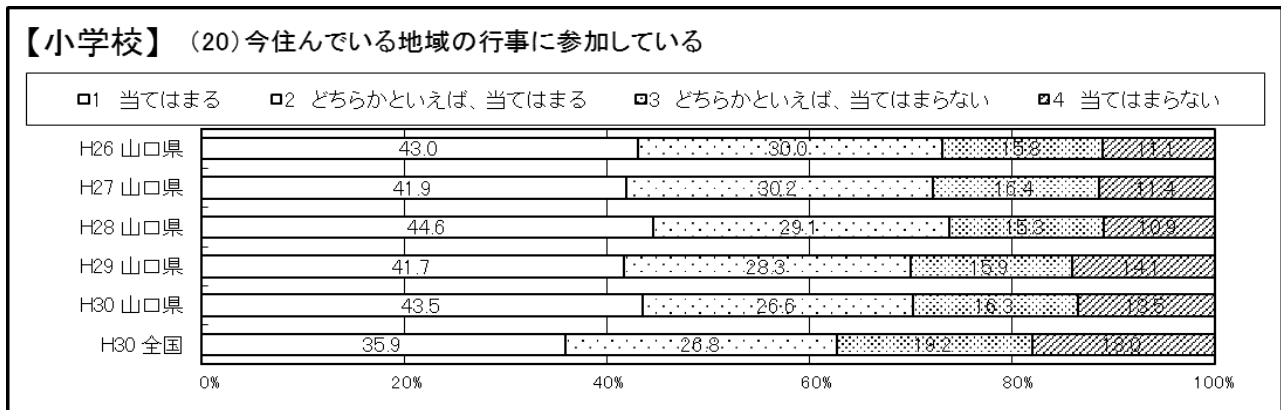


③地域との関わり

ア 地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会



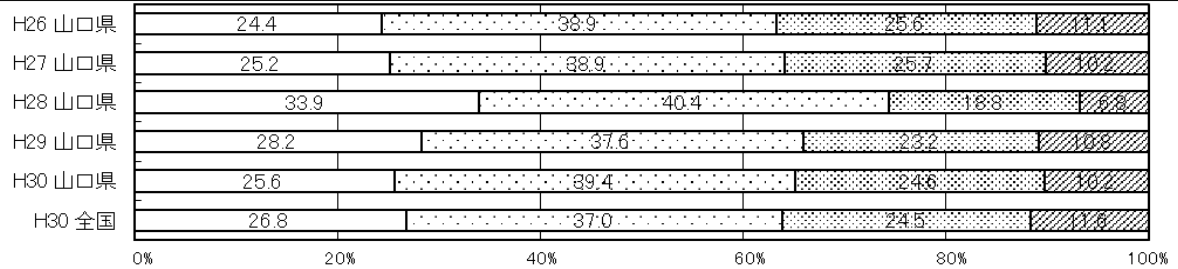
イ 地域行事への参加



ウ 地域や社会で起こっている問題や出来事への関心

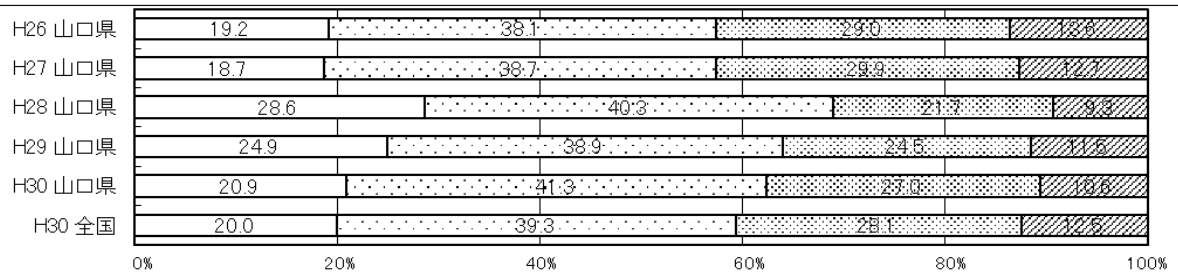
【小学校】 (21) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (21) 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある

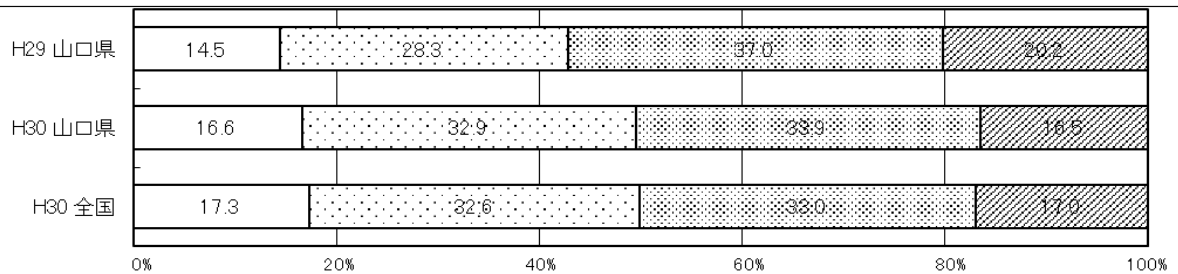
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



エ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている

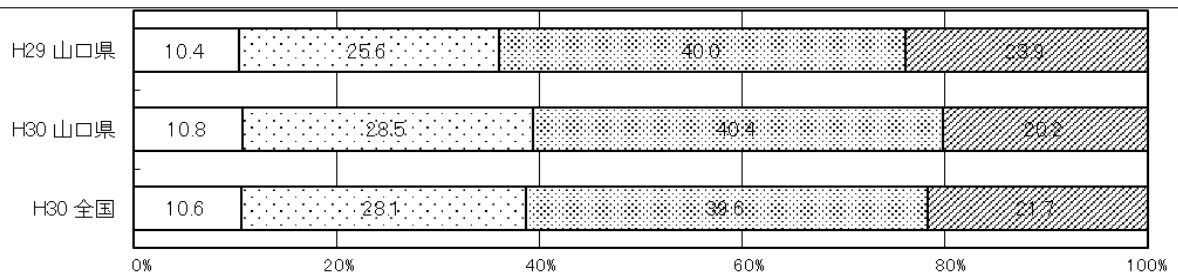
【小学校】 (22) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (22) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある

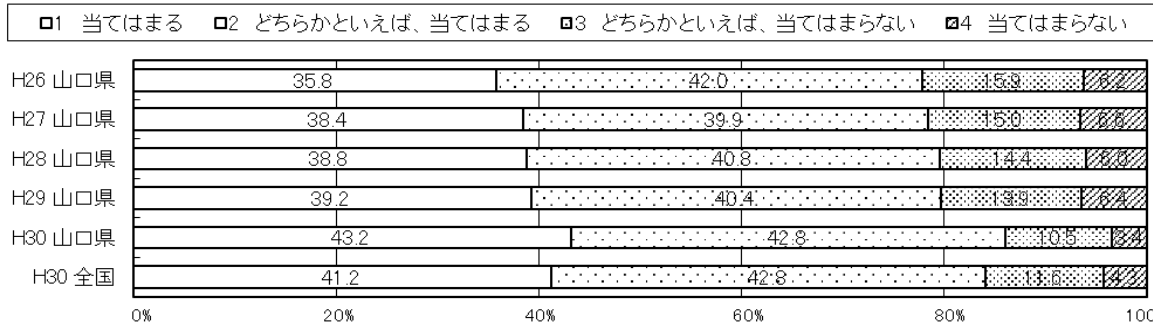
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



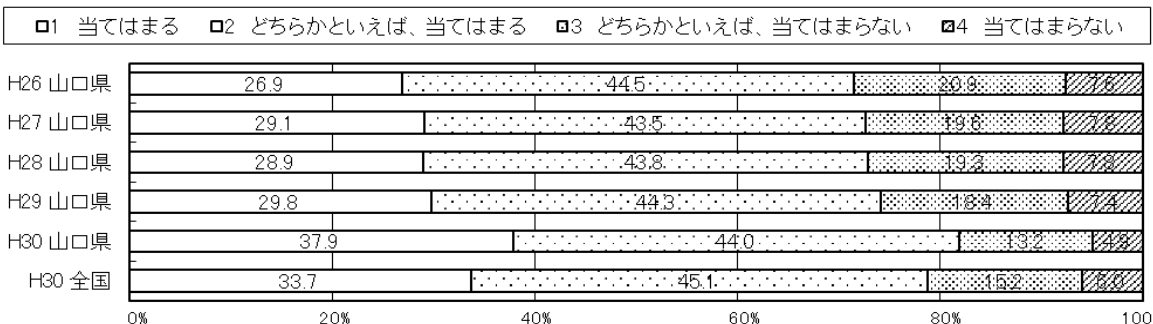
④子どもたちの意識

ア 自分にはよいところがある

【小学校】 (1)自分には、よいところがあると思う

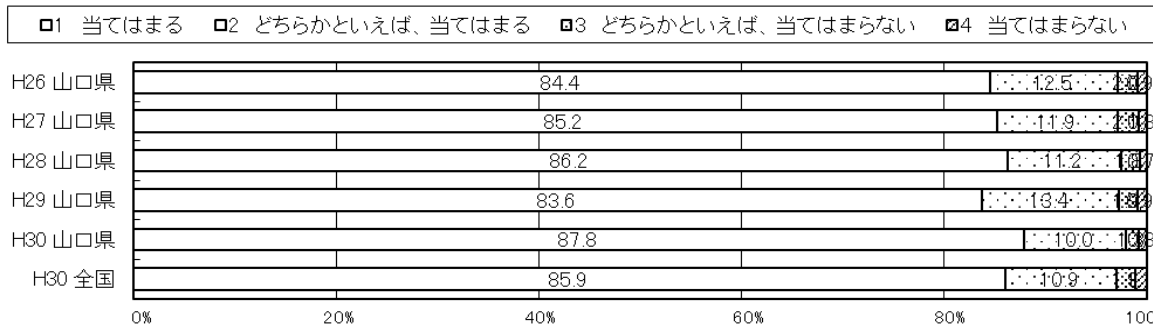


【中学校】 (1)自分には、よいところがあると思う

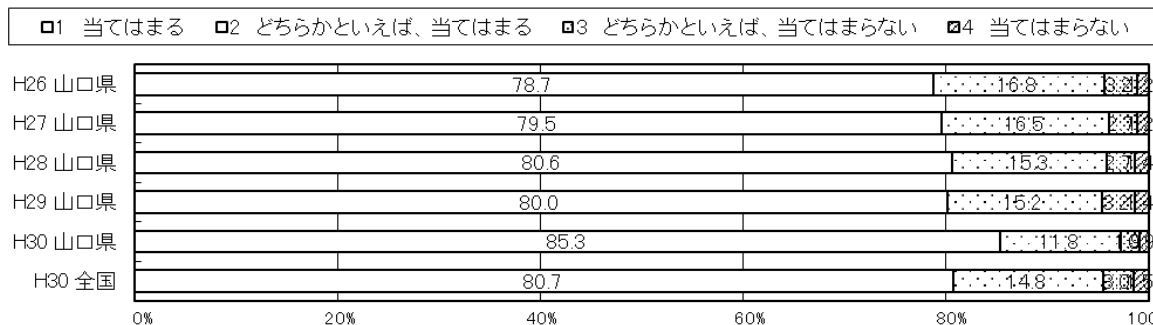


イ いじめは絶対にいけない

【小学校】 (5)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

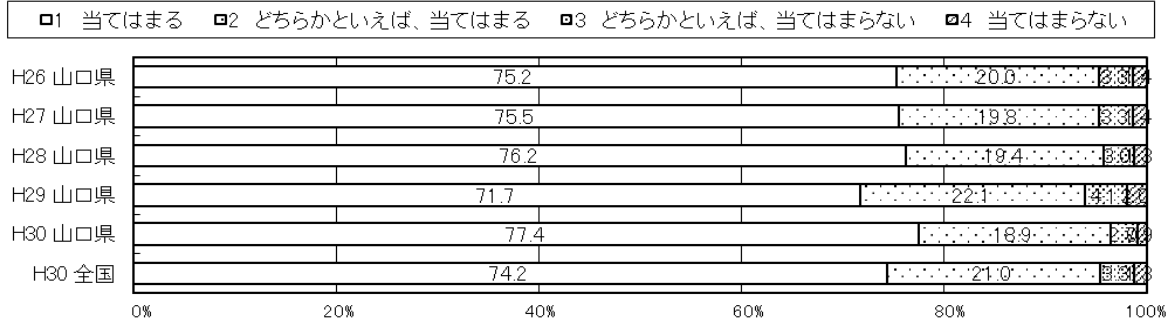


【中学校】 (5)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

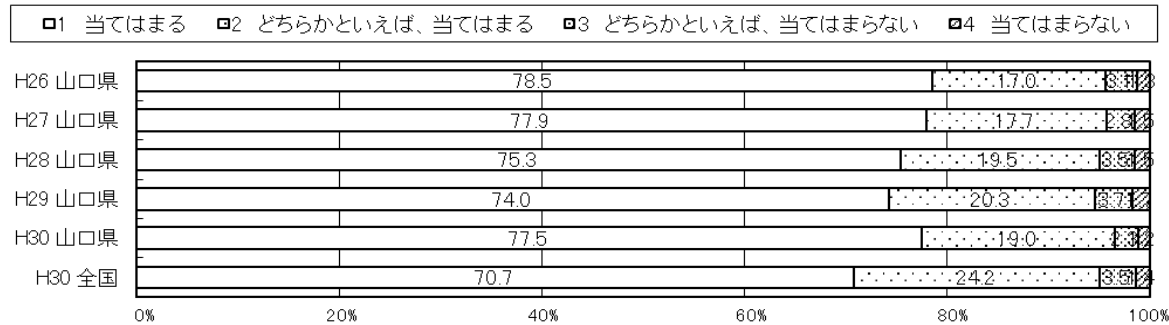


ウ 人の役に立つ人間になりたい

【小学校】 (6)人の役に立つ人間になりたいと思う

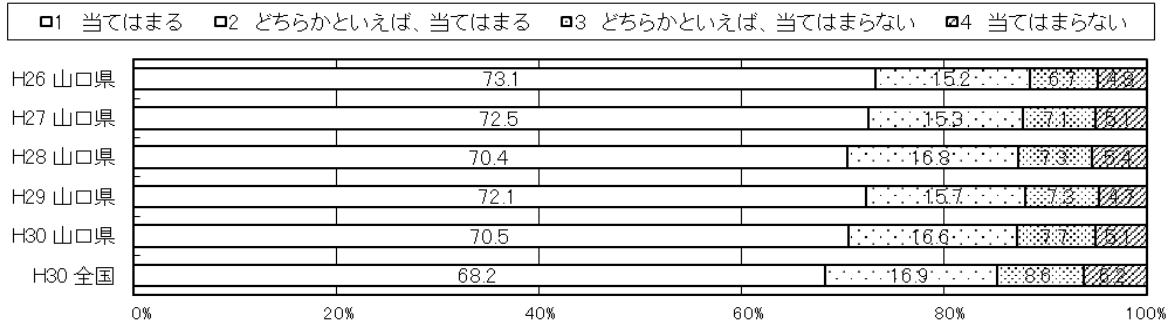


【中学校】 (6)人の役に立つ人間になりたいと思う

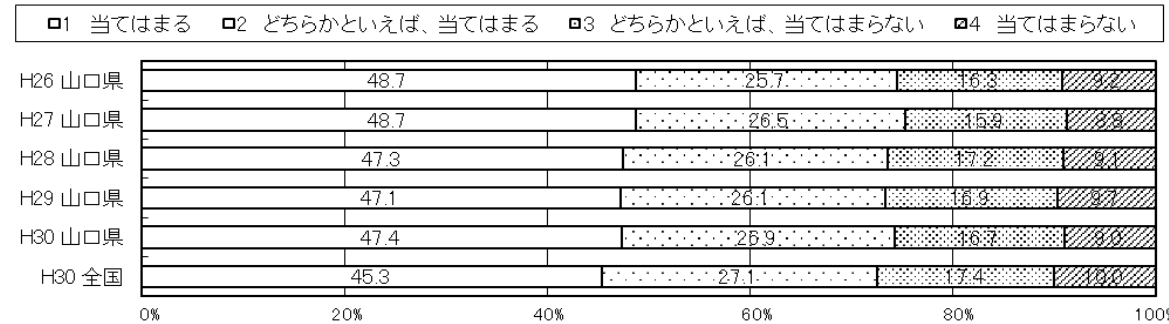


エ 将来の夢や目標を持っている

【小学校】 (3)将来の夢や目標を持っている



【中学校】 (3)将来の夢や目標を持っている

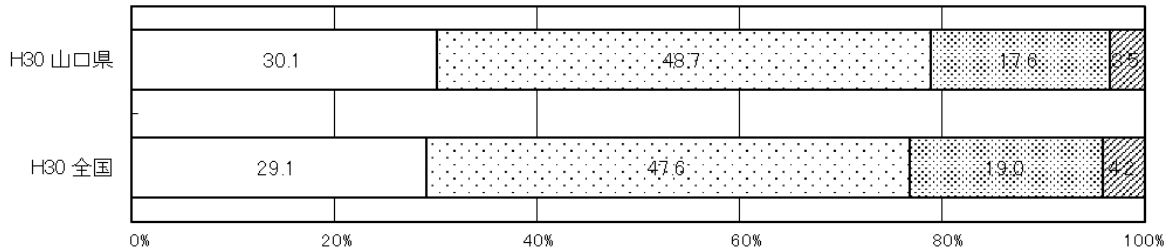


⑤学校の授業や活動

ア 課題の解決に向けた主体的な取組

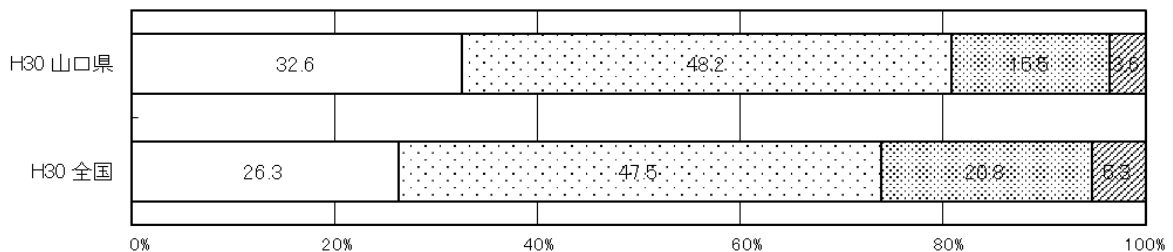
【小学校】 (55)5年生までに受けた授業について、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う

□1 当てはまる □2 どちらかといえば、当てはまる □3 どちらかといえば、当てはまらない □4 当てはまらない



【中学校】 (52)1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う

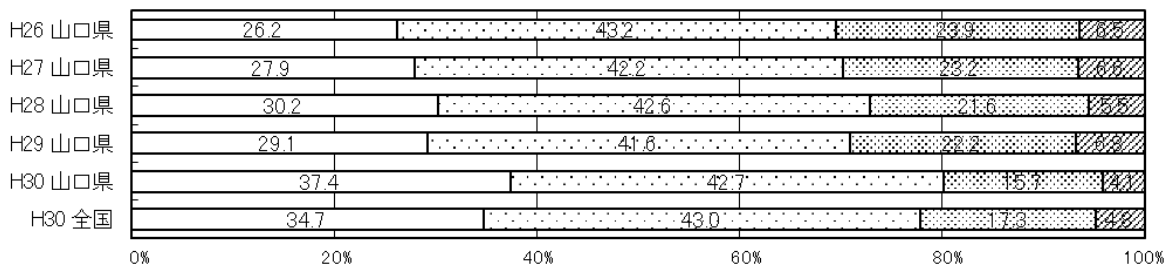
□1 当てはまる □2 どちらかといえば、そう思う □3 どちらかといえば、そう思わない □4 そう思わない



イ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている

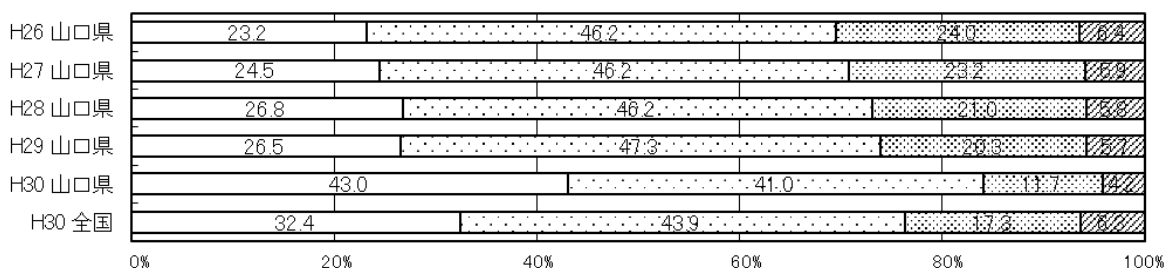
【小学校】 (57)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

□1 そう思う □2 どちらかといえば、そう思う □3 どちらかといえば、そう思わない □4 そう思わない



【中学校】 (54)生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

□1 そう思う □2 どちらかといえば、そう思う □3 どちらかといえば、そう思わない □4 そう思わない

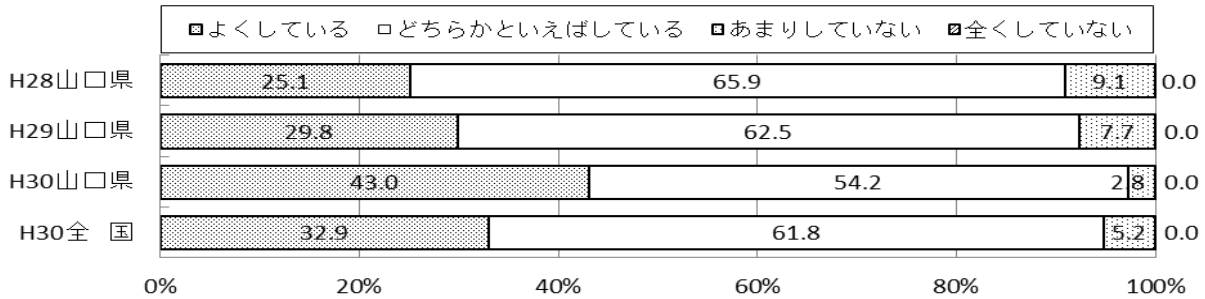


(4) 学校質問紙の結果

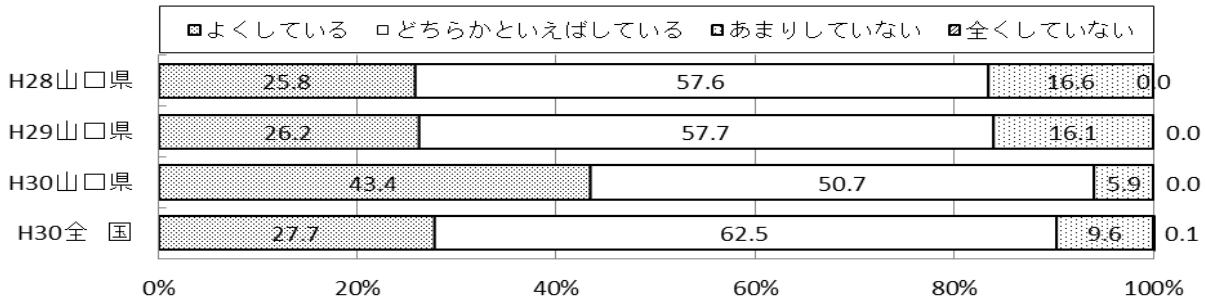
①教育課程

ア 横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列して指導計画を作成

【小学校】 16 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している

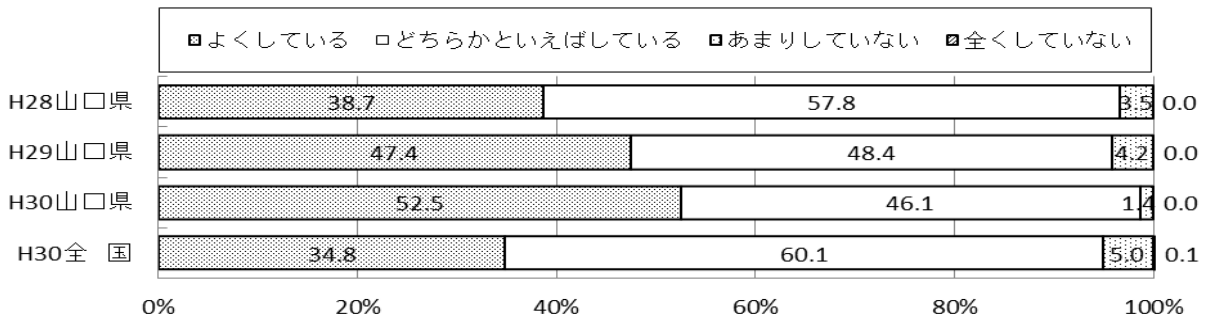


【中学校】 15 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している

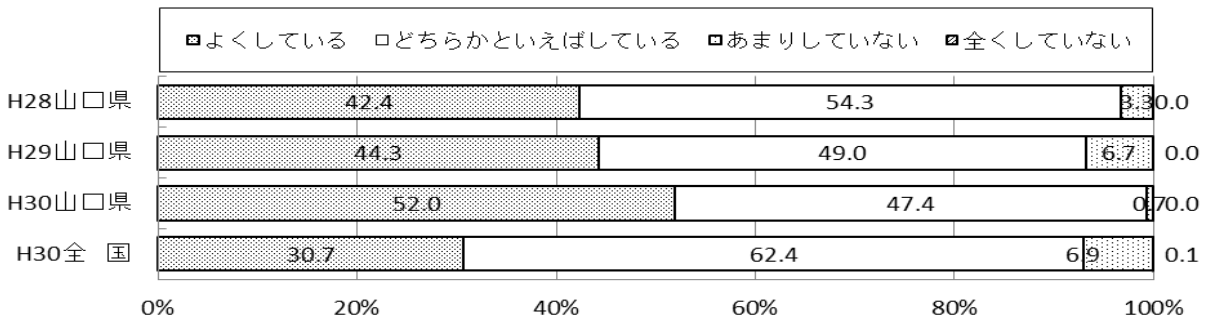


イ 子どもの姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

【小学校】 18 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

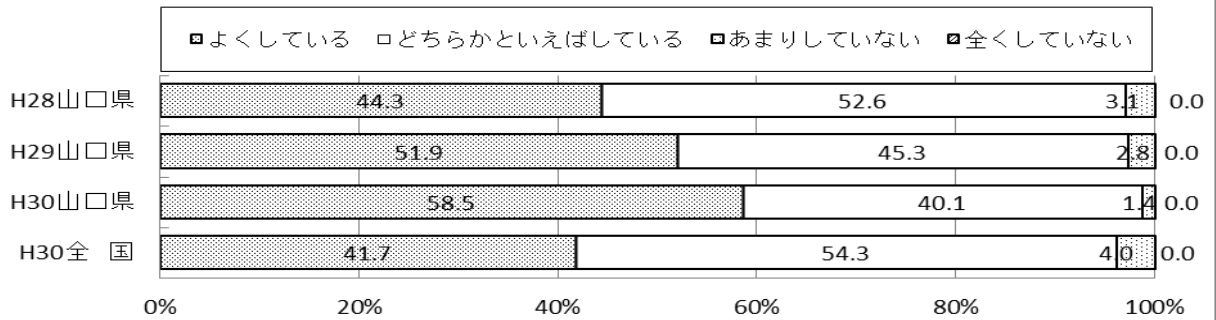


【中学校】 17 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

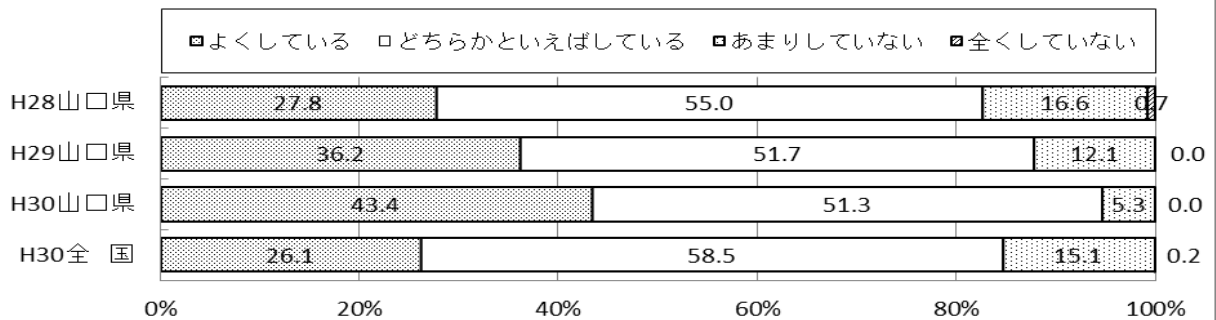


ウ 地域等の外部の資源を含めた人的・物的資源を活用した指導計画の作成

【小学校】 19 指導計画の作成に当たっては，教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている

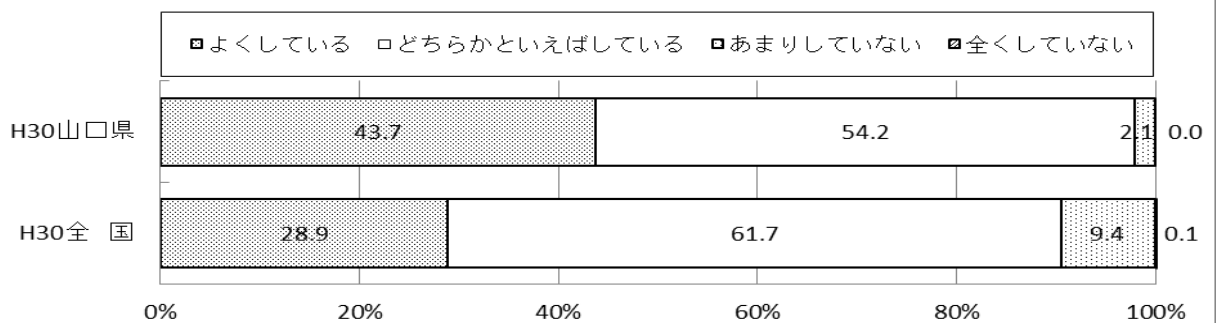


【中学校】 18 指導計画の作成に当たっては，教育内容と，教育活動に必要な人的・物的資源等を，地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている

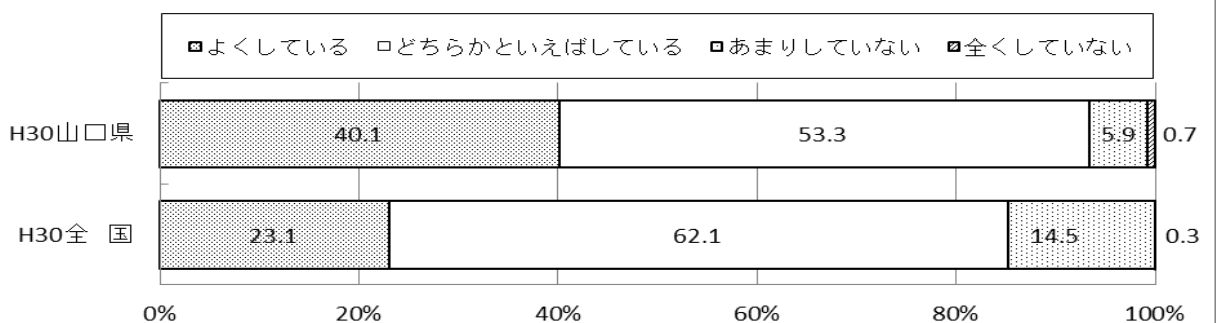


エ 教育課程の趣旨についての家庭や地域との共有

【小学校】 20 教育課程の趣旨について，家庭や地域との共有を図る取組を行っている



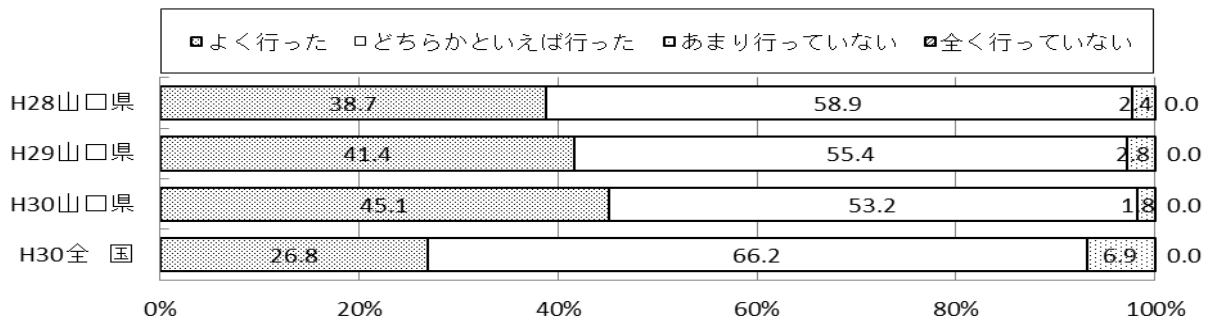
【中学校】 19 教育課程の趣旨について，家庭や地域との共有を図る取組を行っている



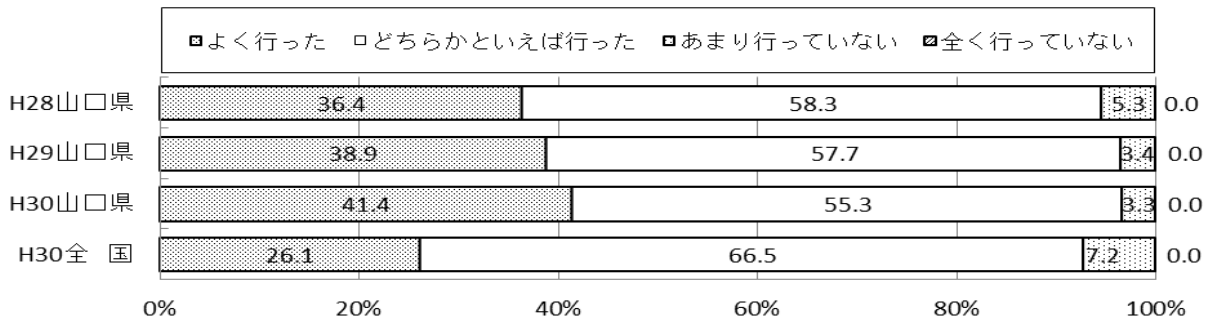
②学習評価

ア 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫

【小学校】 22 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

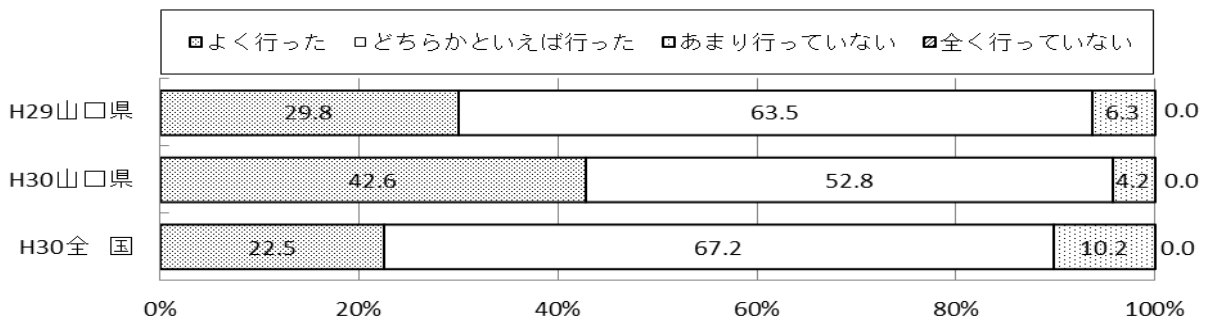


【中学校】 21 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

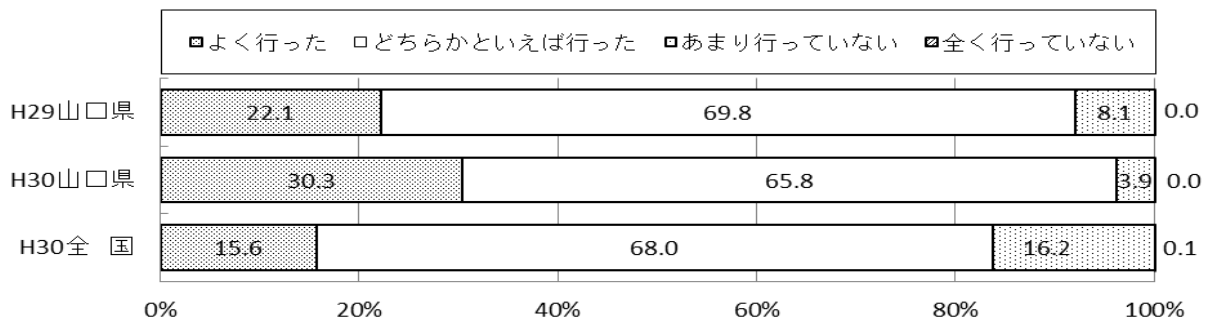


イ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会の設定

【小学校】 26 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた



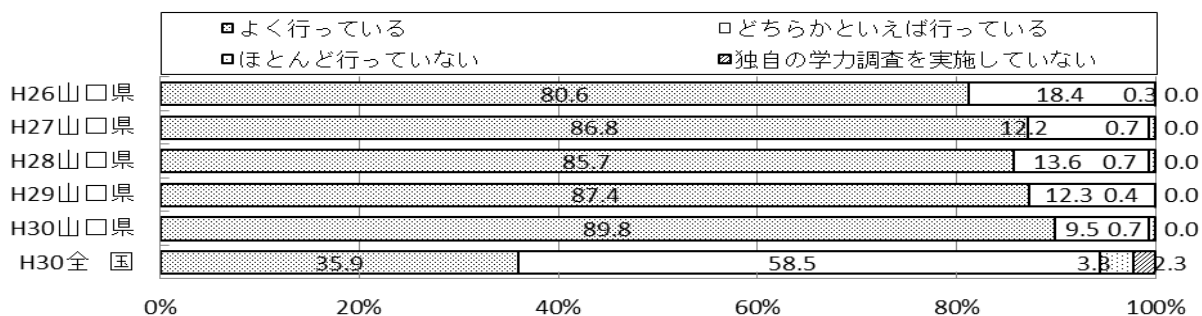
【中学校】 25 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた



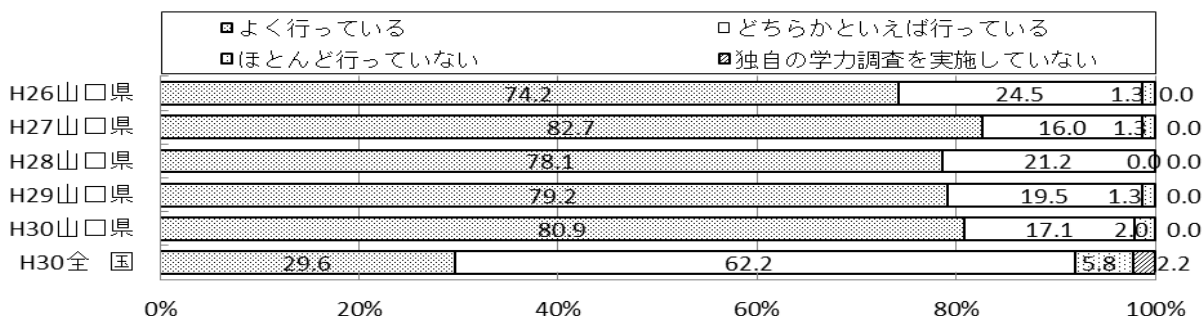
③調査結果の活用

ア 全国調査と県調査を併せて分析し、指導の改善や指導計画等に反映

【小学校】 33 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



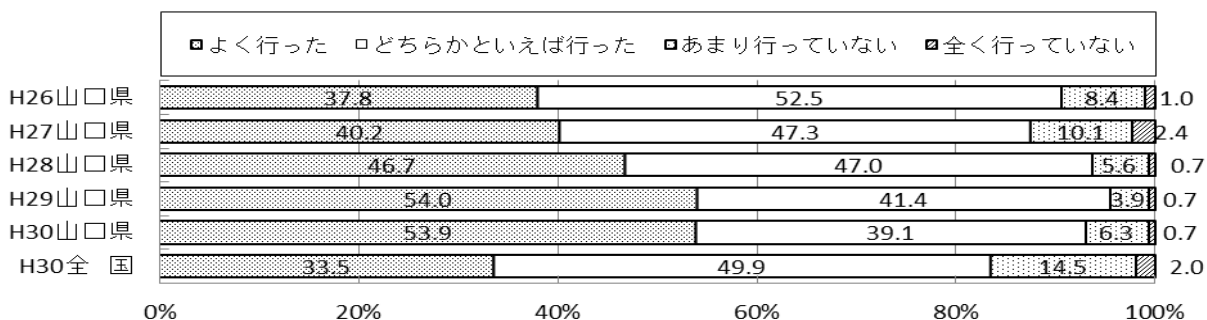
【中学校】 32 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



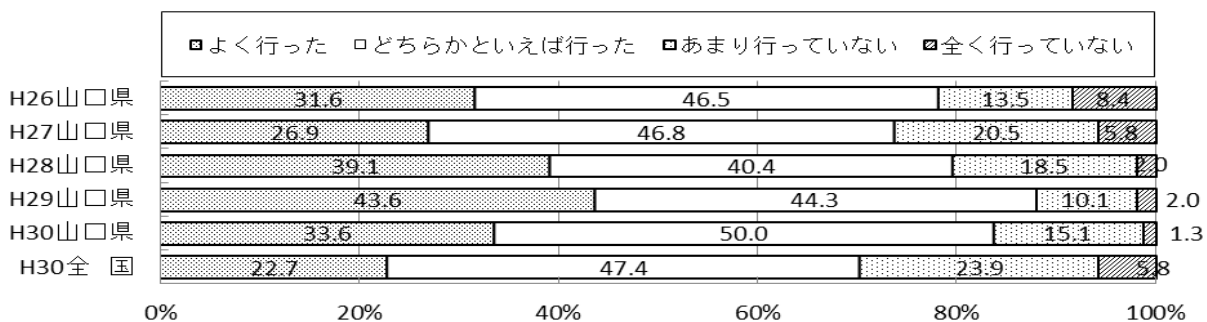
④地域の人材活用

ア 地域の人材を外部講師として招聘した授業の実施

【小学校】 53 地域の人材を外部講師として招聘した授業

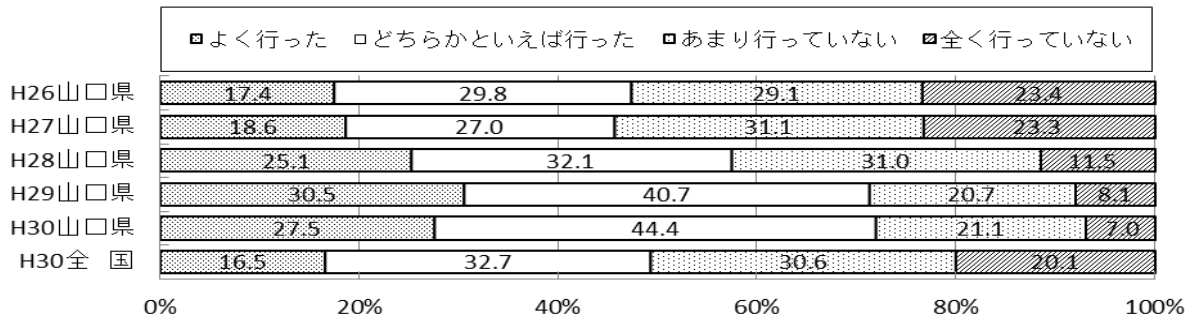


【中学校】 51 地域の人材を外部講師として招聘した授業

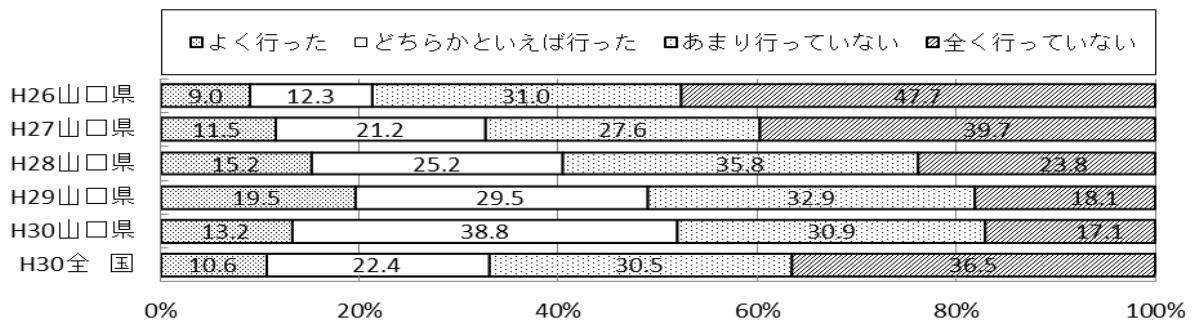


イ ボランティア等による授業サポート（補助）の実施

【小学校】 54 ボランティア等による授業サポート（補助）

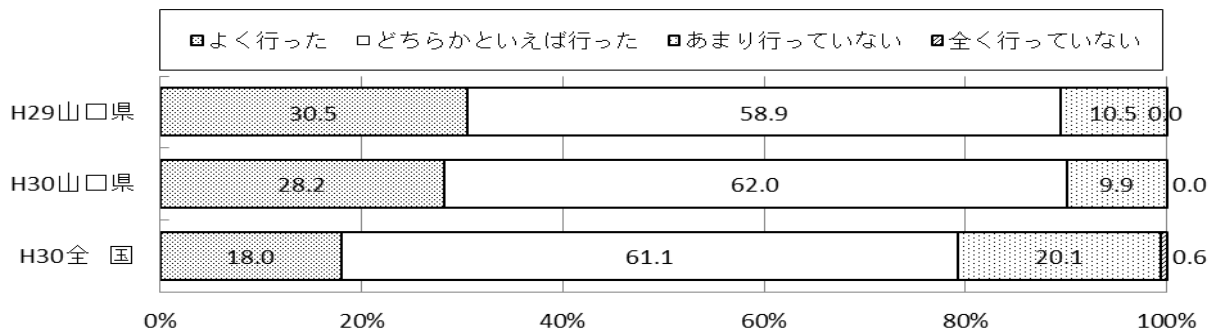


【中学校】 52 ボランティア等による授業サポート（補助）

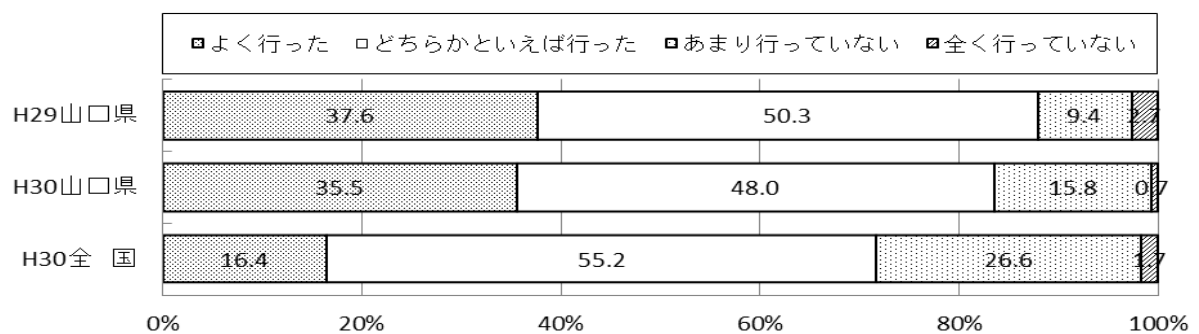


ウ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導

【小学校】 56 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導



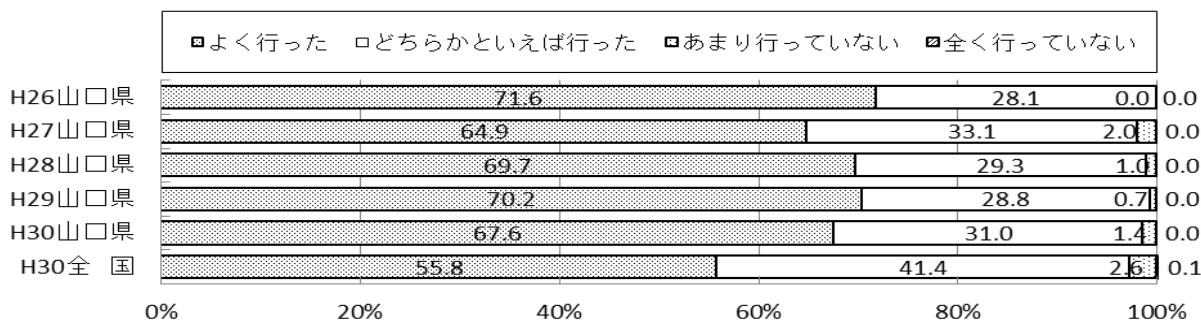
【中学校】 54 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導



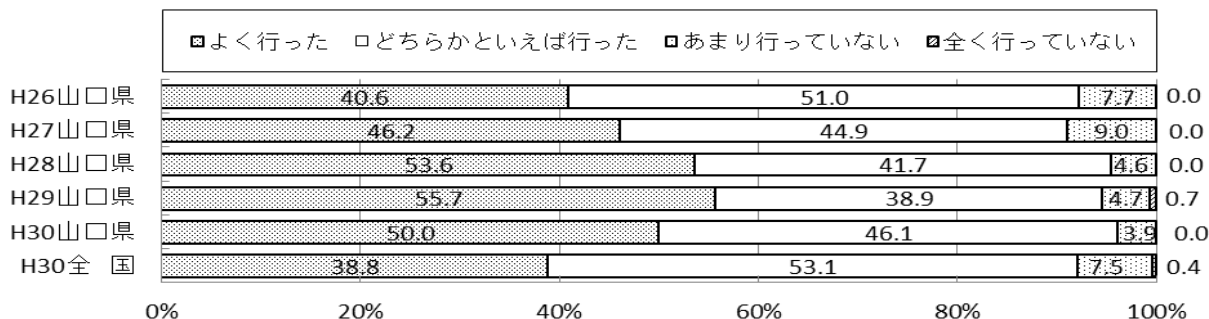
⑤家庭学習

ア 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促す働きかけ

【小学校】63 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけ

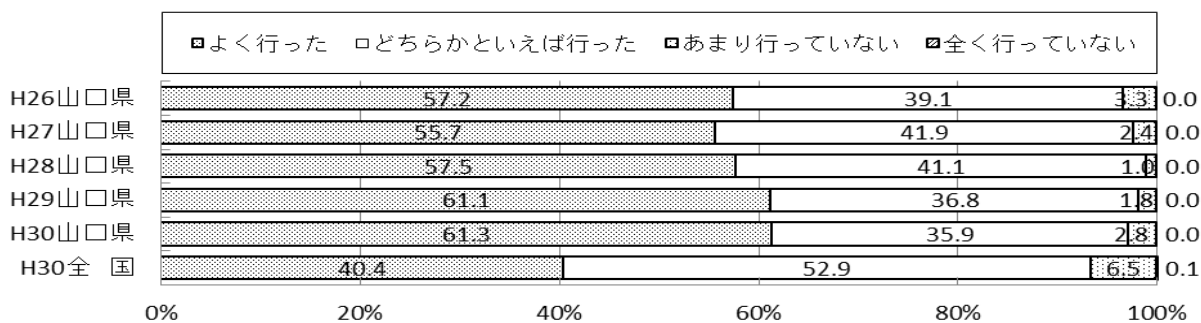


【中学校】60 保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけ

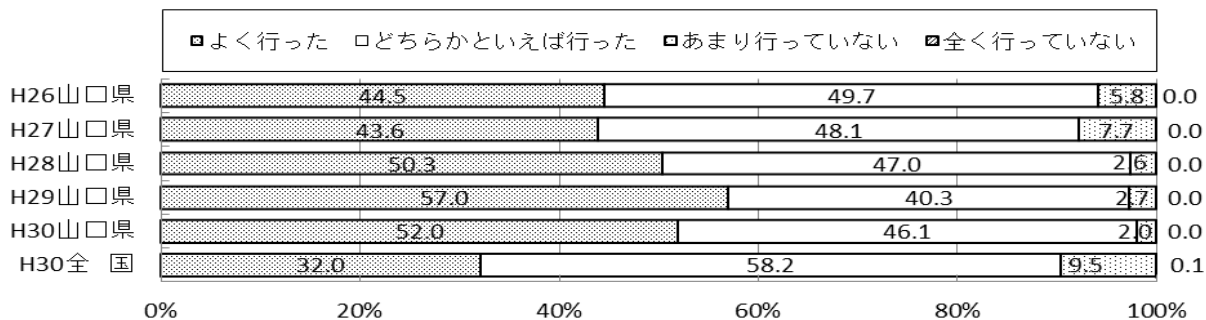


イ 家庭での学習方法等の具体的な説明

【小学校】66 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える



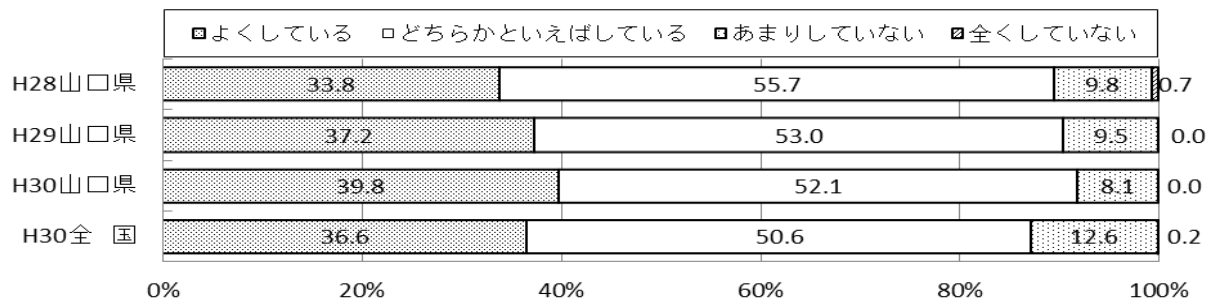
【中学校】63 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える



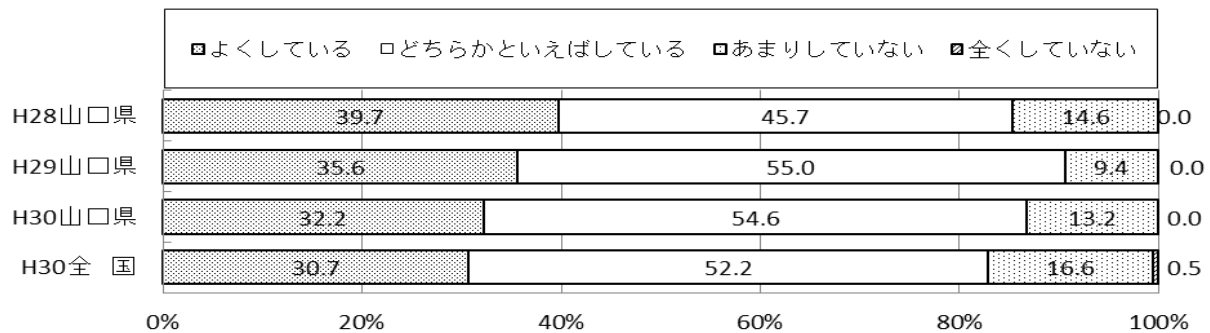
⑥教員研修・教職員の取組

ア 校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加

【小学校】76 個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している

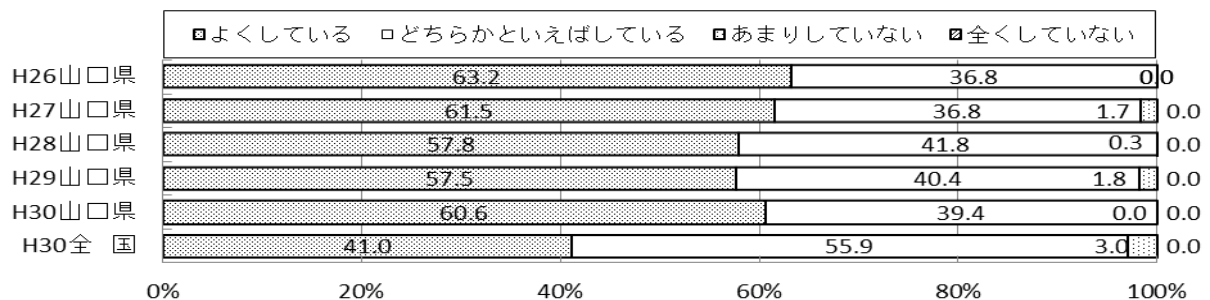


【中学校】73 教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している



イ 校内外の研修や研究会に参加した成果を教育活動に積極的に反映

【小学校】78 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている



【中学校】75 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている

